



吾輩をして道路改良の

衝に在らしめば

藤原俊雄

○
我國の道路改良は、近代の交通機關の異常なる發達に刺戟せられて漸く其の緒に就いたのであるが、最近その進歩の跡を顧みるとときには、吾々素人の眼から觀ても未だ遺憾の點尠しとしないのであ

る。今思ひついた儘に二、三の卑見を述べて見たい。

若し吾輩が今日の道路改良事業の衝に直面して居つたとするならば、如何なる方策を執るべきであらうかといふことを考へて見たい。それには先づ第一に、道路といふものに就ての國民の觀念を正しく誘掖する爲に、一般の輿論を創造することに重きを置かなければならぬ。現代に於ては何事に依らず輿論の背景なくしては眞の事業は行はれない、輿論の欲求の上に加ふるに適切なる行政を以てして始めて萬般の進歩改善を見ることが出来るのが現代の動かすべからざる事實である。

然るに今日一般國民の觀念は、道路に對するほど幼稚なものは無いと言つても敢て過言でないといふ現状ではあるまいか。而も現時の國民經濟上、道路の改良ほど緊切なる問題は無いのである。眞に道路の改良が行はれたならば、因つて以て産業は發達し、物價は低落し、國民の生活は安定し、社會經濟を緩和する基を成すのである。然るに國民の多數は未だ此の道路改良に對する觀念が甚だ薄くして、道路は依然として人の歩行に堪ゆれば足るといふやうな原始的の思想に囚はれて居る者が尠くない。現代の目覺しき改良發達を遂げた交通機關に對して、道路の改良が如何に必要であるかといふことは、少數の専門家有識者に依つて叫ばれて居るに止まつて、一般國民の其の點に對する自覺は未だ甚だ幼稚であると謂はなければならぬ。

○

それ故に先づ此の道路の價值、其の改良の必要といふ事に對する一般國民の觀念を誘掖し、此の間

題の促進に對する輿論を創造するといふことが、最も根本的に緊要なる事であると思ふ。而して是等の國民の輿論を喚起するといふことは行政作用に依る官廳方面の力に俟つべき部分のあることは勿論であるが、行政官廳の活動といふものは、因習の久しき、動もすれば萬事が消極的に、或は取締とか或は制限とかいふやうな方面にのみ重きを置かれて、積極的に啓發し誘導して行くといふ方面に就ては、其の努力が甚だ少ないといふ憾を禁じ得ない。斯かる現狀に於ては、一面行政の運用と相俟つて民衆の輿論を喚起し、一般の觀念を誘導する上に専ら努力を傾注するの要甚だ切なるものがある。現時の産業界に就て觀るも、一事業が何等かの新機軸を發見し其の發達の上に異常なる躍進を示しつゝあるものがありとするならば、其の此に至る道程に於て所謂輿論的センチメントを造る上に如何に關係當事者が非常なる努力を拂つたかといふ跡を歴々と見る事が出来る。

道路改良會は朝野の先覺の士に依つて創設せられて以來、専ら此の方面に努力を續けて居るのであるけれども、忌憚なく言へば道路改良會の活動の如きも、主として一部の専門家の間に認められて居る位であつて、未だ以て之が完全に道路改良に對する社會一般の輿論を指導するといふ域に達して居ないことは甚だ遺憾に堪へないのである。

○

今や道路改良の問題は世界的に大なる注目を惹いて居るのであつて、道路改良に關する専門家の國際的會議も成立して居るのであるが、泰西諸國に於て、之が先鞭を着けたとも謂ふべき國々の實際

を見ると、國內に於ても或は道路改良の社會的會議を催すとか、或は大々的の宣傳を行ふとか、一種のお祭騒ぎをして居るやうな國に限つて、其の道路の改良が洵によく行はれて居る事を觀るのである。例へば米國の如き、過去二十年間に於て恐くは百億圓以上の道路改良費を支出して居る所以のもも、之が自動車の發達に依つて刺戟されたといふ半面には、道路改良に關する大宣傳が行はれたのである。リンコルンハイウエーと稱する大陸貫通の公道を目的とする一大協會、其の他種々なる會合團體があつて、到る處の店頭や事務所に、道路改良に關する宣傳ビラを見ざる所は無いといふやうな雰圍氣の裡に在つて、始めて百億圓の資金も容易く投じ得られたといふことは疑ふべくもない事實である。であるから徒に堅苦しい理論や學說に立籠る専門家の研究とか、或は動もすれば消極退嬰に墮する法令の取締を以て甘んずることなく、更に大いに積極的に、民衆的に一種の芝居がかつたお祭騒ぎの興味ある會合宣傳を屢々全國各地に催ほして、之に依つて一般民衆の理解と輿論を喚起するといふ事も、是は道路改良に對する行政の進歩した作用の一部分であると言ひ得るのである。然るに我が國の從來の道路行政に於ては、熱心なる専門家や眞摯なる經驗家が多い割合に、民衆的に道路改良といふ事に對する宣傳の方面に甚だ遅々たる憾のあることを痛感するのである。

○

次には都市の道路に關して、其の道路の改良鋪裝に依つて如何に市民の生活上直接間接大なる利益を享くるかといふことを、數字的に實地に基いて市民に傳へるといふ手段が最も必要であると思

ふ。我國の都市の道路は最近非常に改善せられて、東京市は勿論、全國六大都市の如きは稍々見るべきものが出来て居るやうであるが、中には又その都市の道路行政の衝に當るところの人々が、道路擴張の方法を誤り、舗装の程度を誤つて居るものを多々見受けるのである。是は其の都市の道路に關する一般觀念の幼稚なる事に左右せられて、十分に事業の豫算が與へられなかつたといふやうな事にも起因して居るだらうけれども、吾輩をして言はしむれば前にも論じた如く、行政の衝に當る人々が一般の輿論を啓發し向上せしめるといふ努力の足らなかつた結果に歸することが出来ると思ふ。其の實例は之を遠く外國に求める迄もなく、關西地方の各都市の道路の現状と東京市のそれとを比較するならば、其の道路の舗装に於て東京市のそれが甚しく下級に在ることを發見するであらう。例へば阪神國道と京濱國道とを比べて見るならば、殆んど三四割も其の出來榮は違ふと言はなければならぬ。又市内の舗装でも、神戸市、大阪市に比べると東京市は遙かに悪い。恐くは關西地方の各都市は街路の舗装費用に於ても一坪當り四十四五圓を使ふに反して、東京市は三十圓前後しか投ぜぬといふやうなことが、斯の如き外觀上の差異を生ぜしむるに至つたものと認めるのである。之が爲に折角舗装工事を施した道路も、目ならずして凹凸を生じたり、忽ち陥没を起すといふやうな事になつて、年中修理改造に逐はれ、其の度毎に交通の妨碍を爲して居るのみならず、自動車の交通に對しては甚しく車體が動搖し、且つ十分の速力を出すことを許さないやうな状態に在るのである。斯ういふ事が延いて一般の民衆に、道路改良といふ事に對して非常な惡因象を與へるに至るのである。即ち折角大金を投じて舗装工事をしても大した利益は無いではないか。寧ろ昔の如く砂利を敷い

た方が手軽に經濟的に濟むと言つたやうな暴論を生ぜしめる所以であつて、甚だ遺憾な結果を呈するの傾向あることは、局に當る者の最も注意しなければならぬ所であると思ふ。

なほ道路工事の實施の手續に就ても、殊に市街地の道路に對して、當局者の失態と言はれても辯解の辭が無からうと思はれる事が多いのである。例へば道路の地質が軟弱で中央部に陥没が出来るといふやうな箇所には、僅少な手数を以て一時的或は永久的の修理を施すことの出来るに拘らず、之を永い間其の儘に放置したり、或は修理に際して道路の狹隘な所に澤山の石などを積込んで、交通の妨碍になることを顧みないといふやうな實例は、日夕吾々の目撃する所である。其の他下水道の改良若くは電車軌道の敷設等の計畫あるものに對しては、同時に道路面の改良を施すべきものであるのに、其の間に事業施行の上に十分の統制が無い爲に、道路工事は豫算の關係上明年度でなければ行はれない、而して下水道の改良工事は今春に始まり、更に同一路面に電車軌道の敷設は今秋に之を行ふといふやうな状態で、等しく道路其ものに施す工事の上に何等の統一の無い結果、市民の受くる迷惑は甚しいものがある。然るに當局者は平然として之を顧みないといふ現状は、恐くは全國に於て東京市が一番多いやうに考へられる。

何故に斯の如き類のことが依然として繰返されるかといへば、當事者の不注意、不親切に基くものであると言ふの外はないのである。凡そ官廳公衙の行ふ行政なるものは、民衆の利便幸福のために

行はれるものである。消極的には危害の防止、公安の維持等のために或る程度の取締を爲すの必要もあり、それだけの権力も與へられて居るけれども、其の権力を有する半面に於ては、民衆の福利の爲めに最善の方法を講ずることは、行政的責務であると謂はなければならぬ。然るに動もすれば是等の民衆の生活に最も直接の利害關係ある當局者が、餘りに所謂官僚的であるといふ感じがするのである。例へば道路工事に關係ある技師は固より、技手、工夫に至るまで、出張には必ず役所の自動車を使用して居る。其の事を敢て悪いとは言はないが、而も自動車の運轉は全然運轉手に委せて、自らは恰も乘客然として、道路の状態に注意を拂ふことなくして通り去るといふやうな事實が多いのではない。斯様な不用意を知らず識らずの間に重ねつゝある餘弊が、延いて今日の如き道路の現狀を呈するに至つた。所以でないかと思ふのである。歐米各國に於ては、道路に關係ある技師、技手は勿論、課長、局長に至るまで、みな自動車は自から運轉して居るが故に、道路の良否、其の缺陷の所在といふことは直ちに感得せられるのである。苟も都市の道路を修繕し、交通に遺憾なからしめんとするには、自からハンドルを握つて道路の状態を點檢するに非ずんば、到底微細なる箇所にも注意が行届くものではない。

吾輩が常に感じて居ることは、苟も道路工事を擔任するところの技師、技手等は、必ず自動車を自から運轉するといふ責務を負はしむるやうに、全國各都市および關係官衙に於ては爲すべきであらうと思ふ。然らずんば恰も醫師が學窓に於て學んだところの知識のみを以て、直ちに患者の病床に臨むが如きものであつて、學理と實際と符合しないと、いふ結果が生じ、専門違ひの博士の診察を乞うて、

而して鑛醫の治療にも劣ると同じ狀況に陥ることになるであらう。

○

我が國の道路の改良發達を圖る上には、先づ東海道の國道を全通するといふことが目下の急務である。而して之を遂行する上に於て、最も世人の注意を惹くところの良い方法は、静岡縣下の小夜の中山を先以て貫通し鋪裝することに在ると信するのである。尤も小夜の中山は數年前から工事に着手して近道を新設せられつゝあるけれども、爾來五年間、未だ之が開通の運びに至らないのである。其の爲に東海道に自動車を驅る者は非常に困難を感じて居る。或は二、三十哩を迂廻したり、或は無理をして小夜の中山を通過するやうな現狀であるが、斯ういふ大工事に對しては宜しく國家が常例を破つて補助の額を増加し、又前段に述べた如く一般の輿論が道路改良といふ事に對して、いま一歩進んで所謂或る種の劇的感情を一般國民が有つやうになつたならば、五年にして開通する道路も二年半にして完成するに至るであらうと思ふ。

而して斯ういふ箇所を改良し鋪裝することは、他の平々坦々たる箇所の道路を改良し鋪裝する事を促進するに至る一種の教育的施設であつて、此の難關を先づ以て改善することが、一般國民の輿論を誘導する上に於て、最も利益のある教育的工程でなければならぬ。

殊に現在の國道を走つて見て感ずるのは、差當りカーヴの箇所を多少でも改善すれば非常に交通を便にするやうな部分が、甚だ不注意に取扱はれて居る。是は全く地方の技師や技手が自動車自身から運轉することを知らざるの罪であつて、唯だ机上の計畫より割出された結果であらうと思ふ。吾々が東海道を通過して見て最も痛切に感ずるのは、一つのカーヴを一回轉で廻ることの出来るやうにする爲には、僅かに三、五十圓を投ずれば足るやうな所とか、或は二、三百金を擲つならば危険なる絶壁を眺めずして廻れるだらうと思はれる箇所が、全然其の儘に放置されて居ることである。此の類の事は上州路から碓氷峠を越えて信州路に入る途中にも屢々其の感を深くすることであるが、斯かる箇所を速に改良して現代的に利用するといふことは、其の衝に當る人々が第一に着眼しなければならぬ點である。故に吾輩は眞に我國の道路を實際的に改良することの要諦は、何よりも先づ全國の技師技手の諸君が、自動車を自から運轉することを學ぶに在りと信するのである。

○

上述するが如く先づ東海道の國道に對して斯様な注意が拂はれて、急所々々を速に改良し、之に對しては工事の緩急に應じて補助の率をも増加するといふことが行はれたならば、僅少の經費と努力とに依つて、一年間に交通上改善せられる箇所は蓋し尠くないであらう。而して其の順序は、必しも市街地の狹隘な箇所を一時に改良せんとして苦心する必要はない、郊外地の樹木鬱蒼たる部分を快く馳驅するといふところに、自動車交通の興味も多いのであるから、僅かの注意を以て十分なる効果

を擧げるやうにすることが必要である。而して是等の特に改良を施したる箇所に対しては、特殊の負擔を課することは敢て妨げないのである。曾ても本誌に述べたことがある如く、瑞西の山道に於ては、二六時中斷えず道路工夫が道路を修繕して居つて修繕費の特に多額を要する部分に對しては、通過の自動車に對して特別の料金を課して、以て修繕の費に充てゝ居るのである。我國に於ても箱根の山道、小夜の中山等に於て、改良道路に對して特別通過料金を徴することは、恰も彼の天龍川に於て橋梁の渡賃を取るのと同じく、敢て之を妨げないのである。徒に法規の成文に拘泥し、法理の論點に捉はれて、實際的に便利な手段を講じないといふことは、蓋し時代錯誤の處置と謂はなければならぬ。吾輩をして道路行政の衝に當らしめたならば、先づ以て道路改良の着眼は斯の如くするであらう。(丁)